



文化祭に使う紙飛行機を作る高遠中の生徒たち

コロナ下の文化祭準備

上伊那の中学校 紙飛行機飛ばしなど工夫

上伊那地方の中学校が、10月1、2の両日に開く文化祭の準備に追われている。新型コロナウイルス感染症対策のため、規模縮小やオンライン配信を取り入れ、学年ごとに行う企画を設けるなどとして工夫を凝らす。24日、伊那市高遠中学校では初日の「紙飛行機飛ばし」コンテストに向け、全校生徒130人余が製作に取り組んだ。

同校文化祭「聖校祭」では、体育祭の団体競技に代わり、クラスごとに行うコンテストやスポーツを企画した。紙飛行機は1人1個ずつ製作。駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）情

報技術科でドローンなど航空関連の課題研究で指導にあたる竹内浩一教諭(59)が協力し、生徒のために撮影された動画で作り方を披露。子どもたちは工作キットの紙を折り、左右のバランスを調整しながら丁寧に仕上げた。完成した紙飛行機はコンテストに使うほか、校内に展示

する。文化祭実行委員長の竹内聖也さん(15)は「コロナ下でも諦めず、できる企画を考えたい。全校のみんなに楽しんでほしい。思い出に残る日になりたい」。中原茉耶さん(15)は「どれだけ遠くまで飛ぶのかわからない」と話していた。(小山真由美)



Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

9月25日(土)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2021